



兵肢協会報

発行所

〒651-0062

神戸市中央区坂口通2丁目1-1
兵庫県福祉センター内

兵庫県肢体不自由児者協会

TEL 078-241-9907

FAX 078-241-9908

E-mail:hyoshikyoo@nifty.com

URL:http://hyoshikyoo.d.doool.jp

息子に導かれて



兵庫県肢体不自由児者協会 理事
神戸市重度心身障害児(者) 父母の会 会長
武田 純子

兵庫県肢体不自由児者協会の長年の活動に於いて、地域への啓発をしつつ、参加される当事者の楽しみを尊重して、芸術、音楽、旅行等、当事者の楽しめる企画を考えて70年以上も継続されている事は大変有難いと感謝申し上げます。

神戸市重度心身障害児(者) 父母の会も加盟するようになって長いおつきあいが続いており、私も卒業後養護学校時代の懐かしい先生方とも再会出来ました。

私事ですが、ある時、母親になりたての娘が、真剣に私に聞いてかけてきました。「お母さんは、お兄ちゃんに、障害があるとわかって産んだんだよねー勇気あつたんだねー!」と。

妊娠中期に羊水過多症の診断を受けて、出産まで3カ月近く入院、その時、既に医者から「何らかの障害を持った胎児です!」と宣告されたのでした。出産後、息子は眠ってばかり、飲んだミルクはすぐもどす、体重は増えない・・・何とかして病名を知りたい、治療法がないものかと検査やら病院通いが続きながら辛い思いをさせた5年間でした。就学の年齢になり、福祉が進んでいける神戸市へ転居、神戸市立友生養護学校住吉分校(現・灘さくら支援学校の前身)を選択、障害の受容が出来たのもこの時期でした。養護学校入学を機に「今日からひと味違った人生を歩み出そう!」と決心し重度心身障害児(者) 父母の会へ入会して現在に至っております。その当時の養護学校は母子通学が主でしたから保護者控室で、次の教室への移動を待ちながら先輩のお母さんから貰う情報や学ぶことも多くありました。

重複障害、医療的ケアを伴う息子は現在53歳、医療福祉センターにお世話になっている息子からは数えきれない程の学びを得ております。私が関わらせていただいている障害福祉関連すべての師匠となり、息子は私にとって大きな「生きる力」になっています。

現在の重症心身障害児(者)の医学の進歩や、支えて下さっている医療従事者はじめ周囲の方々には心より感謝せざるを得ません。在宅の親御さんが24時間、医師、看護師、介護士等の役割を家庭で何役も担っている現実をみると、もともと在宅での介護軽減が充実するような施策が必要だと痛切に感じます。幸い当会の理事、評議員には、ご理解ある医療関係の先生方が多くおられ、療育相談の機会があることは大変心強い限りです。

「地域にこんなサービスがあったらいいな」を描いて「障害者・家族・事業所を地域で孤立させない!」をモットーに、重度障害者を対象にしたNPOの事業所を立ち上げて23年が経過しました。重度の肢体、知的対象の生活介護、重症心身障害児対象の放課後等デイを開設し、そこで見聞きしたご家族の悩みや相談は、貴重な親の声であり現場から見えてくる課題を行政にも伝えられる機会を作っております。

IT化される世の中であっても、障害のある方々とは表情や、感情が読み取れる、対面コミュニケーションは今後も大事にしたいと思えます。障害のある人、ない人との距離感が少しでも縮まる社会になればと願う次第です。

肢体不自由児者協会は

- 一 肢体不自由児者の愛護思想の普及、療育等に関し必要な事業を行い、肢体不自由児者の福祉の増進を図ることを目的とし、そのために、
 - 二 肢体不自由児者の愛護思想の普及
 - 三 肢体不自由児者の療育相談及び更生相談
 - 四 肢体不自由児者の教育の援護
 - 五 肢体不自由児者の激励慰安
 - 六 肢体不自由児者に関する刊行物等の発行及び斡旋
 - 七 肢体不自由児者の福祉に関する調査及び研究
- 日本肢体不自由児協会及び関係諸団体との連絡などを行っています。